

< あなたの治療について >


血内-CHOP 療法-q3w

今回の治療は、CHOP 療法という治療法で、エンドキサン(CPM)とドキソルビシン(DXR)とオンコピン(VCR)という3種類の注射薬とプレドニゾン(PSL)という内服薬を併用して行います。エンドキサン、ドキソルビシン、オンコピンは、共に腫瘍の増殖を抑えるお薬です。プレドニゾンは、副腎皮質ステロイドですが、抗腫瘍効果があり、また、前記の薬と併用して治療を手助けする大事な役目をはたしています。4つの薬を組み合わせることで、より効果を高めることができます。

治療全体の流れ

今回の化学療法は3週間が1コースとなっています。各コースの1日目に点滴を行い、1日目の点滴の日から5日間に渡って内服薬(プレドニゾン)を服用します。この治療を3週間(21日間)ごとに8回繰り返します。副作用が強く出たり、体調がすぐれない場合は回復するまで、治療を延期したり、お薬の量を減らしたりすることがあります。

1コース分の治療スケジュール

	薬剤商品名 (薬の作用)	投与	1~5日目	6~21日目
	プレドニゾン (ステロイド) 100mg/body	内服		お休み

順序	薬剤商品名 (薬の作用)	投与	1日目	2~21日目
	グラニセトロン (吐き気止め)	点滴 約30分		お休み
	オンコピン (抗がん剤) 1.4mg/m ²	点滴 約30分		
	ドキソルビシン (抗がん剤) 50mg/m ²	点滴 約15分		
	エンドキサン (抗がん剤) 750mg/m ²	点滴 約30分		

点滴中や点滴後に、注射部位が痛い、赤くなつてはれる、水ぶくれができる、ただれるなどの症状に気づいたときは、すぐに申し出てください。また点滴中は、腕を動かすことにより針がずれ、点滴漏れが生ずることがありますので気をつけて下さい。

起こりやすい副作用について(頻度20%以上)

エンドキサンとドキソルビシンとオンコピンについて

白血球減少 悪心・嘔吐、食欲不振 脱毛 口内炎 しびれ感

特徴的な副作用について

エンドキサンにおける

出血性膀胱炎

「排尿時に痛みがある，尿が残っている感じがする，尿の回数が増える，尿が赤みを帯びる」などの症状

*** 出血性膀胱炎の予防として、水分を十分に摂り、排尿に心がけてください。**

ドキシルピシンにおける

心筋障害

「息切れがする，咳き込む，急に胸が痛む，脈が乱れる，めまいがする」などの症状

オンコピンにおける

末梢神経障害及び筋障害

「手足のしびれ感，灼熱感，痛み：物がつかみづらい，歩行時につまづくことが多い」などの症状

*** しびれがひどくなり、生活上の支障が出てきたときは必ず医師・看護師・薬剤師にご相談下さい。**

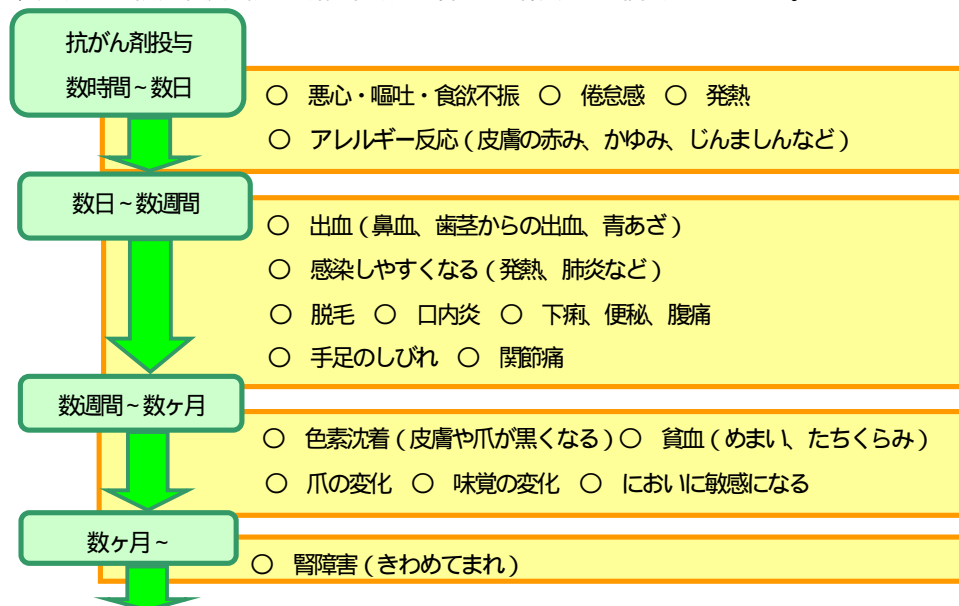
*** 上記症状が現れたときは、必ず医師・看護師・薬剤師にご相談下さい。**

副作用の発現時期の目安

*この図は、今回用いられている抗癌剤による副作用だけでなく、他の抗癌剤によって起こる副作用も含まれています。

これらの副作用がすべてあらわれるわけではありません。

また、発現する時期や程度も抗がん剤の種類や患者さんの体質により個人差があります。



副作用の対策について

吐き気・嘔吐，下痢と便秘，口内炎，感染症，出血，貧血，脱毛などの副作用の対策について知りたい方は、資料をお渡しすることができますのでお申し出下さい。

**薬品毎の副作用について（添付文書における重大な副作用を製薬会社作成「薬のしおり」などから抜粋）
まれな副作用ですが、この様な症状が現れた際には医師・薬剤師・看護師へご相談下さい。**

【エンドキサン】

- <心毒性>胸痛、息が苦しい、脈が乱れる、動悸
- <ショック・アナフィラキシー様症状>寒気、吐き気がする、動悸、息が苦しい、発しん、かゆみ
- <骨髄抑制>発熱、寒気がする、のどが痛む
- <出血性膀胱炎、排尿障害>排尿時に痛みがある、尿が残っている感じがする、尿が赤みを帯びる
- <イレウス、胃腸出血>激しい腹痛、お腹がはる感じ、便秘、吐き気がする、発熱、冷汗、血を吐く、便に血が混じる（黒い便ができる）
- <間質性肺炎・肺線維症>発熱、咳が出る、息が苦しい
- <心筋障害、心不全>胸痛、息が苦しい、脈が乱れる、動悸、疲れやすい、足がむくむ
- <抗利尿ホルモン不適合分泌症候群（SIADH）>頭痛、嘔吐、めまい、全身のだるさ
- <皮膚粘膜剥脱症候群（Stevens-Johnson 症候群）、中毒性表皮壊死症（Lyell 症候群）>発熱、皮膚が赤くなる、皮膚や粘膜の水ぶくれ、全身の皮膚がひどく痛い

【ドキシルピシン】

- <心筋障害、心不全>手や足首のむくみ、息切れ、動悸、胸の痛み
- <白血球減少>発熱、寒く感じる・ふるえ、喉の痛み
- <貧血>疲れやすい、めまい、頭がふらふらする、皮膚や顔が青白い
- <血小板減少>原因不明のあざ、歯茎からの出血、鼻血、月経量の増加、血が止まりにくい
- <ショック>発疹、蕁麻疹、頻脈、せいぜいする

【オンコピン】

- <末梢神経障害>四肢のしびれ、痛み、感覚鈍麻、運動障害、味覚鈍麻・消失。
- <骨髄抑制>貧血症状、発熱、出血傾向。
- <錯乱、昏睡>考えがまとまらない、時間、場所などが判らない、意識が完全に消失した状態。
- <イレウス>排便の停止、腹痛、腹部膨満感、食欲不振、吐き気。
- <消化管出血、消化管穿孔>激しい腹痛、吐血、下血、黒色便、吐き気、吐く。
- <SIADH>全身倦怠感、頻尿、のどの渇き。
- <アナフィラキシー様症状>呼吸をしにくい、じんましん、ふらふら感、冷汗、動悸、息切れ。
- <心筋虚血>胸の痛み、圧迫感、狭窄感、冷汗。
- <脳梗塞>突然認める片側の手足や顔の麻痺、しびれ、頭痛、言語障害、視力障害、意識障害。
- <難聴>声や音がきこえない。
- <呼吸困難及び気管支けいれん>呼吸をしにくい、発作的な息切れ、喘鳴（ヒューヒュー音）。
- <間質性肺炎>発熱、から咳、呼吸をしにくい、頭痛、全身倦怠感。
- <肝機能障害、黄疸>全身倦怠感、食欲不振、吐き気、吐く、皮膚や結膜などが黄色くなる。

上記のほかにも副作用が現れることがあります。

他にもからだの異常を感じたら、主治医や薬剤師、看護師に相談してください。